

OpenJDK の Red Hat ビルド

Oracle JDK に代わる選択肢

主なメリット

- ▶ オープンソース・イノベーション
- ▶ コスト削減
- ▶ マルチプラットフォーム・サポート
- ▶ 長期サポート
- ▶ 頻繁なリリース

今すぐ始める

OpenJDK の Red Hat ビルドをダウンロードして開発を始めましょう。developers.redhat.com にアクセス

OpenJDK のコンテナイメージ

OpenJDK の最新かつセキュリティ重視の認定済みコンテナイメージをダウンロードしましょう。catalog.redhat.com にアクセス

概要

全世界で Java™ を実行しているデバイスは、推定 150 億台にのぼります。2019 年 1 月まで、最新の Java 仮想マシン (JVM) は無料で利用できました。しかしそれ以来、Oracle はリリース頻度とサポートモデルの大幅な変更を複数回実施しました。本番ワークロードおよびパッチ用 Oracle JDK の無料提供終了に伴い、組織は、Oracle に料金を支払い Oracle JDK の製品サポートおよび更新を継続するか、もしくは代替となる OpenJDK 実装に移行するかの選択を迫られています。

OpenJDK の Red Hat® ビルドは、無償で利用できる Java Platform, Standard Edition (Java SE) のオープンソース実装です。これは Oracle JDK に代わる選択肢であり、組織は移行作業にほとんど、あるいはまったく労力を割くことなく、従来のライセンスに煩わされずに、Java 環境を長期的に安定化および標準化できるようになります。

メリット

OpenJDK の Red Hat ビルドは Oracle JDK に代わる選択肢であり、多くの特長とメリットを備えています。

表 1. メリット

メリット	説明
オープンソース	Red Hat は OpenJDK 運営委員会のメンバーであり、Oracle に次ぐ主要コントリビューターです。 ¹
コスト	OpenJDK のサポートは、Red Hat Enterprise Linux®、Red Hat OpenShift®、および Red Hat Application Services のサブスクリプションに含まれています。スタンドアロンの Windows サブスクリプションも購入できます。
マルチプラットフォーム・サポート	OpenJDK は Red Hat Enterprise Linux と緊密に統合されており、Windows、SUSE Linux Enterprise Server (SLES)、Ubuntu、および MacOS (開発サポート) でもサポートされています。
長期サポート	Red Hat は、OpenJDK バージョン 8、11、および 17 の長期サポートを提供しています。
頻繁なリリース	Red Hat は、OpenJDK 8、11、および 17 ディストリビューション向けに、年 4 回の更新に加え、随時セキュリティ修正を提供します。

アプリケーション移行ツールキット

Red Hat アプリケーション移行ツールキットは、既存の Java コードベースから OpenJDK への移行の識別と計画に役立つ一連のユーティリティを提供します。developers.redhat.com にアクセス

ライフサイクルサポート

Red Hat が提供する OpenJDK のディストリビューションはすべて、あらゆる Java ワークロードの開発および実稼働向けにサポートされています。このため、Windows または Linux ベースの環境での開発、テスト、およびデプロイを安心して行うことができます。Red Hat は、OpenJDK 11 および 17 ディストリビューション向けに、約 3 カ月おきに年 4 回の更新を提供します。

表 2. Red Hat Enterprise Linux のサポート対象バージョンとライフサイクル期間

OpenJDK	RHEL 6	RHEL 7	RHEL 8	RHEL 9	サポート終了
8 (1.8)	6.6	7.1	8.0	9.0	2026 年 11 月
11	なし	7.6	8.0	9.0	2024 年 10 月
17	なし	なし	8.4	9.0	2027 年 10 月

表 3. Windows のサポート対象バージョンとライフサイクル期間

OpenJDK	Server 2012 R2、2016	Windows 10 および 11	Windows Server 2019	Windows Server 2022	サポート終了
8 (1.8)	○	○	○	○	2023 年 6 月
11	○	○	○	○	2024 年 10 月
17	○	○	○	○	2027 年 10 月

Red Hat は、SLES、Ubuntu、Windows 64 および 32 ビット、MacOS の開発サポートでの OpenJDK もサポートしています。

Oracle JDK に代わる選択肢

OpenJDK と Oracle JDK は、どちらも同じ Java SE 仕様の実装です。2017 年、Oracle は、Oracle JDK と OpenJDK に互換性を持たせることを目標に、それまでオープンソース化されていなかった Java SE ツールのオープンソース化に取り組みました。まだいくつか小さな違いはありますが、現在では OpenJDK 11 と Oracle JDK 11 は機能的に同等のものとなっています。

OpenJDK の Red Hat ビルドも、OpenJDK プロジェクトをベースとしています。Red Hat が行う追加作業はすべて、OpenJDK コミュニティで最初に実装されます。つまり、お客様は認定済みの OpenJDK ビルドでアプリケーションを実行できるのです。OpenJDK の Red Hat ビルドは、Oracle の Java Technology Certification Kit (TCK) に合格しており、Java 仕様に準拠していることが保証されています。

OpenJDK の Red Hat ビルド

Red Hat は、OpenJDK の Red Hat ビルドに対する包括的な実稼働サポートと、Eclipse Temurin に対する商用サポートを提供します。このサポートには、脆弱性の開示、セキュリティ通知および修正、サービレベル契約が含まれます。



図 1. OpenJDK の製品化プロセス

Red Hat の製品化プロセスには、機能の開発、セキュリティテストの強化、テスト、デプロイメント・アーティファクトの作成、製品統合、ドキュメント作成などの作業が含まれます。Red Hat はオープンソース・コミュニティにコミットしており、OpenJDK プロジェクトの第 2 の主要コントリビューターでもあります。Red Hat が行う製品化作業のほとんどは、OpenJDK アップストリーム・プロジェクトに貢献できます。

Eclipse Temurin の商用サポート

Eclipse Temurin は、Eclipse Adoptium コミュニティによる比較的新しい OpenJDK ディストリビューションです。このコミュニティは AdoptOpenJDK プロジェクトから始まりました。多くのプラットフォームで高品質な OpenJDK ビルドのソースとして業界全体で絶大な人気を博しており、ダウンロード数は 5 億件近く²に達しています。

Red Hat は [Adoptium Working Group](#) の設立戦略メンバーです。マイクロソフト、Azul、IBM、Alibaba、Huawei など参加しています。Red Hat は、OpenJDK の Red Hat ビルドと Eclipse Temurin のサポートを提供します。

利用権

OpenJDK の Red Hat ビルドと Eclipse Temurin に対するサポートは、以下のサブスクリプションに含まれているか、追加が可能です。

- ▶ Red Hat Enterprise Linux
- ▶ Red Hat Application Services のすべてのサブスクリプション
- ▶ Windows 向けの OpenJDK の Red Hat ビルド (Red Hat Application Services 以外の Java ワークロード用)

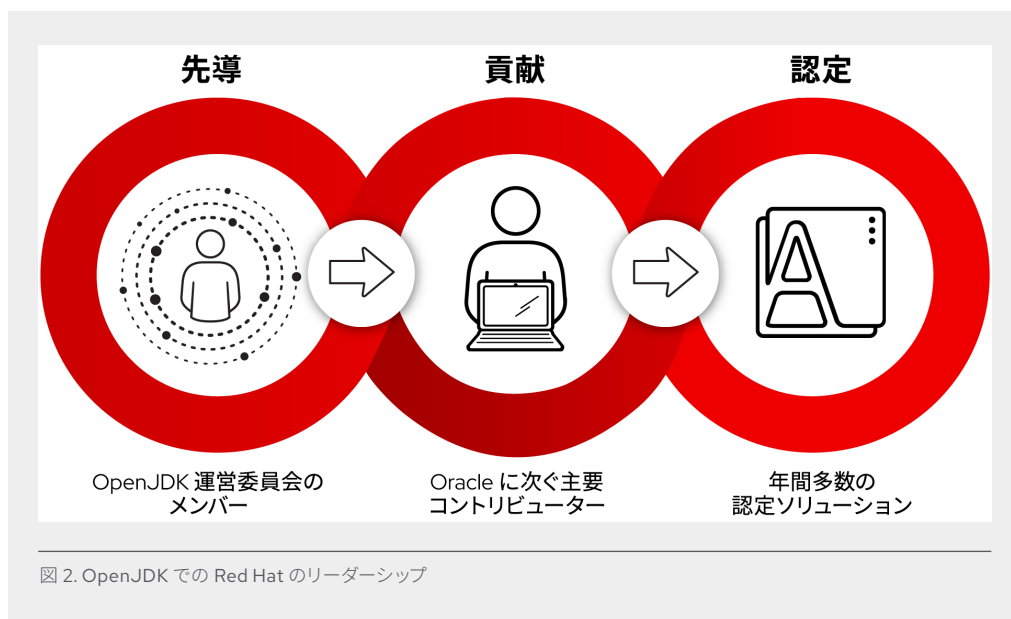
長年にわたる OpenJDK との協力関係

Red Hat と OpenJDK の長い関係は 2007 年までさかのぼります。これは、Red Hat が OpenJDK コミュニティにコントリビューションを行った初の主要なソフトウェアベンダーとなった年です。Red Hat は OpenJDK 運営委員会のメンバーであり³、Oracle に次ぐ主要コントリビューターでもあり⁴、長年にわたって多数の認定ソリューションを提供しています。Red Hat は、OpenJDK 8 および 11 プロジェクトのスチュワードも務めてきました。

2 「[AdoptOpenJDK download stats](#)」、Adoptium、2023 年 2 月 21 日にアクセス。

3 「[OpenJDK governing board](#)」、Oracle ブログ、2023 年 2 月 21 日にアクセス。

4 Chander, Sharat、「[The Arrival of Java 19](#)」、Oracle ブログ、2022 年 9 月 20 日。



Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザーであり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

アジア太平洋

+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア

1800 733 428

インド

+91 22 3987 8888

インドネシア

001 803 440 224

日本

03 4590 7472

韓国

080 708 0880

マレーシア

1800 812 678

ニュージーランド

0800 450 503

シンガポール

800 448 1430

中国

800 810 2100

香港

800 901 222

台湾

0800 666 052

f fb.com/RedHatJapan
 t twitter.com/RedHatJapan
 in linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com
 #229751_0223

Copyright © 2023 Red Hat, Inc. Red Hat, Red Hat ロゴ、および OpenShift は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。Linux® は、米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。Java およびすべての Java ベースの商標およびロゴは、米国およびその他の国における Oracle America, Inc. の商標または登録商標です。